

(仮称) 地域防災会議の設置について

1 目的

自助、共助の意識を高め、地域防災力の向上を図る。

2 対象地域

初年度となる平成24年度は、モデル地区として柴又地区と堀切地区の2箇所とする。対象範囲は固定せず、自治町会を中心に、PTAや学校、災害ボランティアなど様々な組織からの参加を促していく。基本的には、選定した自治町会等に構成を任せるものとする。

3 活動内容

自分たちの住んでいる地域の地勢や環境、防災関連施設などを確認し、いざ、災害が発生した場合に自分たちはどう行動すべきか、地震や火災、水害など様々な災害の事象に合わせた事前の予防、応急対策、そして復興までを地域住民自らが検討し、区はそれを後押しする形で地域の防災計画としてまとめていく。

さらに、その計画に盛り込んだ事業を実践して計画の実効性を検証しながら、より精度の高い、実践的な地域防災計画にしていく。この作業の過程において、災害時における個人及び地域としての自助、共助の意識及び防災行動力を高めるとともに、他の地域への波及効果もねらう。

3 設置期間

平成24年度は、モデル地区に対して具体的な取り組みに向けた協議を始め、3年を目途に、その地域の「地域防災計画」として完成させる。

また、その期間内において、適宜、検討してきた結果を成果物にして広報していく。

4 区の支援

区は自主性を損なわない程度に、地域防災会議の進行や資料提供、アドバイスなどに関してコーディネートする人材を派遣するなど、会議の運営や活動に対する側面支援を行っていく。